

ヤブランは、冬でも葉が枯れずに青々としている常緑性の多年草です。

藪（ヤブ）など日が差さない場所で育つので、ヤブランと呼ばれるようになりましたが、ランと名が付いていてもランではありません。

固めの葉は光沢があり地際から立ち上がるようにすっと伸び、こんもりとまとまります。緑葉の品種は、

落ちついた雰囲気を持っていますが、斑入り種は明るい印象になります。

晩夏に穂状の花を咲かせ、晩秋には黒い実をつけます。花は紫色の花が一般的ですが、桃色や白もあります。

丈夫で手間がかからず、あちこちに広がって困るということがないのも大きな魅力です。学名の「リリオペ」の名前で呼ばれることもあります。



お手入れメモ

ヤブランは、日陰・日向、湿潤・乾燥いずれにも強い、使い勝手のよい多年草です。

＊開花時期 8月～9月

＊特性 丈夫で、条件にあまりこだわりがありません。

＊水やり 乾燥によく耐えますが、植え付け直後や春から秋にかけての生育期は水切れのないように。

＊その他 春に古い葉を元から切り取るとスッキリします。

